外国雑誌購入調査について

— 関 東 地 区 —

雨 宮 祐 政*

は じ め に

外国雑誌を適正な価格で購入し、正確に入手するという事は当然なことでありながら今日なお種々の問題を含んでいることは誠に遺憾なことである。このことを是非なんとかいたしたいと考えている折、たまたま関東区会の席上で話題となり調査することが議せられ、東京慈恵医科大学の向井茂氏が該資料の原案を作成し、東京医科歯科大学が関東区世話役ということで筆者の手許において調査材料の収集とまとめを行なったのをこのような形で発表する次第である。

ここにこの調査について問題となる点多かろうと思われるので、利用方法上注意願いたいことを附記しておく。即ち、ご覧いただければ自明の通り僅々20点という極めて一部分の外国雑誌のことについて眺望した限り、決してこれが無欠のデータであると判断することは危険であるのみでなく、予約購入契約で相互に結び合ったとは言え、経費の支払方法がそれぞれの機関に差異があり、また、見積り当初の契約を十分に履行しない面があるところから思惟すると、これらの調査が果して妥当なものであるか疑念なしとは考えられない。勿論このような調査においてついやされた効果は、図書館側で得た収穫としては大きなものがある他面、業者側へ与えた反省資料として決してゆるがせにできないものがあると思ふ。そうは言いながら、未熟な内面が存する以上、利用されるに際して調査結果説明

を通しよく考察されるよう望むわけである。

結 果 の 分 析

この調査目的は、重要文献で、かつ、利用頻度の高いもの20点を選んで、それらの文献をどのように経済的に入手をし、利用体制を整えているかを知ろうとすると共に、予約購入とは何かということを明確に答えるすべを追究するにある。従って、ここにまとめられたそれぞれの調査データは、一応、予約購入方式の実体をあかしているものである。

それでは、これからこの調査にあらわれた課題の核心にふれながら、解明してゆこう。

先ず、各機関が外国雑誌を限りある経費でより多数のものを入手しようとするために払う金銭的、精神的努力は、並み大抵のことではないが、今回の調査対象とした別掲資料20点に支出された金額をみると、総計6,362,705円で、うち大学が4,828,225円、病院・研究所が1,534,480円であることは、易々とみることは早計であろう。また、このように多額の経費を取り引きする業者も、ここに意を集中することのあるという点は、否とはいえないと思う。なお、これを平均にしてみると、大学関係で30万円、病院・研究所機関で22万円となり、また、全機関平均で28万円である。従って、1種類18,000円弱となるので少額どころではなく配慮を怠ってはならない金額というべきであろう。これを機関別においての開きの巾でみると、1種類15,000~12,000円となり、これを更に実証する例として昭和42年度に正規契約を予定してい

* Sukemasa AMAMIYA 東京医科歯科大学

る東京医科歯科大学の諸契約高は、種類にして625、点数で962の13,074,450円で、その1点平均額13,590円に比して自明のようにまことに安易な契約高とはいえないようである。

つぎに分析調査結果をみると、総合な面で第1表および第2表に示されるところによれば、前者にあっては誌名2, 6, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 19, 後者にあっては4, 5, 6, 11, 12, 14等が価格較差が目だつものである。しかも、前者が全体の2分の1に対し、後者は3分の1弱の開きを示していることは、裏を返せば注文者である機関側も業者側もいろいろと問題をもち、いい分もあろうが、課題の中心点が最終的には3分の1前後に解決方法を強く打ち出せばよいと断定し得られるようである。なお、このようにして二者を比較して分析結果の大方をまとめて論ずるとき、機関での契約の仕方や業者の取り引きでの勘案などによる差異原因が生じていることはいうまでもなく、その顕著な実証として平均値5, 6, 12, 14が価格高低の開きを示していることである。即ち、5, 6は案外契約高が安くなかったといえるし、反対に12, 14は安く契約されたものが多かったと論断し得るわけであろう。更に、これを第5表、第6表、第7表、第8表に亘る前金払、後金払、分割払、混合払の契約別のそれぞれを眺めるとき、第1表、第2表をよく裏書きしていると思う。価格較差の強くみえるのは、殊に第8表の混合払であることに注目されるだろう。このことは、第3表、第4表にみる契約別支払合計額比較によく示されていると思う。また、第16表、第17表にみる業者側にみる契約別による機関の支払区分が混合払が多いということと関連しているといつてよからう。

概略グラフ表で大まかに説明したので具体性を離れたため、とらえにくいところがあったかと考えるが、特に機関・業者双方において今後研究し、検討を要するのは、はじめに

おことわりしておいたように、種々雑多の条件が内在しているほか、この調査が原価まで併記されてなされたものでないことが意味を減殺しているかもしれない。ともかく、このような結果をまとめたということでプラス面を提示したものであろう。

殊に金額較差のはるかに開いている2のJ. A. M. A. や9のBiochim. Biophys. Actaおよび16のCirculationの3点は疑問を多く含んでいる。もっとも、これらの誌類は、一つは原価の相異と誌類のもつ性質というか条件を伴うことによる取り扱いの差異などが左右しているので、機関の十分な心得ある注意によることが肝要であり、また、業者もそれに沿うた機関の意志を喚起して誤りない金額を示すべきだと思う。随って国立機関にあっては、誌類の特殊事情を勘案して随意契約という方式で、支払方法の区分によりその年度の終りを期し精算処理を会計面で行なうということをし、予想ないし、予測される諸事項を円滑に運び得るよう努めているのである。このような煩さなことをしなければならぬということがどの位あるかも該調査で明示されているについて予約購入ということの意味を改めて考える必要が同時にあろう。

最後に20点の誌類について契約高がどのようになされているかをみたのが、第9表、第10表、第11表、第12表、第13表、第14表、第15表である。これらによって知られるように、前述同様混合払に集中していると共に、前金払、後金払も多くみられる。そして問題点を含む誌類も誌名4, 5, 6, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 19などとなっている。それに全般的に眺めて老舗は取り引きも多く契約高も多いながら、平均して上昇にあるが、取り引きでは余りひけをとらない新進若しくは小社では、逆に契約高の割に安値であるということが知られる。このことは、機関にしる、業者にしる名称を記号化しているのでおわかりにくいところがあるが、このように述べれば推測されることだろう。

予約購入の問題点

ここに予約購入ということになるが、これには次のようなことがふくまれているといつてよからう。

- 1) 会計的の立場
- 2) 学術資料の立場

このほかに利用者であり、使用者である研究者の要望を十分に充たすことに対する立場が考えられねばならないと思う。

1) の会計的な処理にしても、単に金員で片のつくことではない。学術資料としての誌類が何等の事故がなく円滑に納入されることが先決である。これは自然科学、応用科学系列の学術資料入のすべてにあてはまるものであろう。従って、適切、不当でない金額が割り出され、遅滞ない現品納入が肝要であり、また、価格が安定していることである。万一に価格変動があったり、何等かの理由で事故が生じた折は、速かにそのことを処理することであるが、それができなかったり、予め定

められた期限までに手筈がなし得ないという場合は、精算による処理が当然あるべきである。また、契約時の金額と相異による不足はそれぞれの証書類の提示により支払われなければならないであろう。これらが現在取り扱われている予約購入上のすべてである。そこには、どこまでも物件意識の何物も存しない。いわゆる物件としての価値のみの判断によっている。

1) に対し、2) は単に物件というよりは、生命の込んだ物件であり、当然精神的な面を加味したものないしは、文化財的考えをもって処理するというこで、納入者である業者に対する条件は、1) に示したと同様ではあるが、態度に学術資料尊重性を多大評価するところからなされることだと思ふ。

いうならば、経理担当の側と図書担当の側の見解に基く相異であろうが、むしろ最近は前者に考えをもつ図書館職員も多い。このようなことが予約購入全般に混迷させるものが存するといつて過言はないようだ。

(第1表) 未区分(共通)最高・最低金額比較

(第2表) 予約購入契約最高・最低額平均価格比較

(第3表) 機関契約別支払合計額比較(1)大学

(第4表) 機関契約別支払合計額比較(2)病院・研究所

(第5表) 契約別最高・最低金額比較(1)前金払

(第6表) 契約別最高・最低金額比較(2)後金払

四(第7表) 契約別最高・最低金額比較(3)分割払

四(第8表) 契約別最高・最低金額比較(4)混合払

(第9表) 業者別予約購入価格比較(1)前金払A,B,D

(第10表) 業者別予約購入価格比較(2)前金払
E,F,I,K,L,M

第11表 業者別予約購入価格比較(3)後金払A,B,L

第12表 業者別予約購入価格比較(4)後金払C,D,E,F,G,I

第13表 業者別予約購入価格比較(5)分割払

第14表 業者別予約購入価格比較(6)混合払a,b,c,d,e,f,g

第(15表) 業者別予約購入価格比較(7)
混合払h,i,j,k,ア,イ,ウ,い,ろ,は,に

第(16表) 支払別業者契約高合計金額比較(1)
前金払, 後金払, 分割払

第(17表) 支払別業者契約高合計金額比較(2)混合払

調査対象の外国雑誌名一覧

1. Journal of Biological Chemistry.
2. Journal of the American Medical Association.
3. Proceedings of the Society for Experimental Biology and Medicine.
4. Lancet.
5. Nature.
6. American Journal of Physiology.
7. New England Journal of Medicine.
8. Journal of Clinical Investigation.
9. Biochimica et Biophysica Acta.
10. Journal of Experimental Medicine.
11. Biochemical Journal.
12. Journal of Physiology.
13. Annals of Surgery.
14. American Journal of Medicine.
15. British Medical Journal.
16. Circulation.
17. Surgery, Gynecology and Obstetrics.
18. Cancer Research.
19. Endocrinology.
20. Science.